



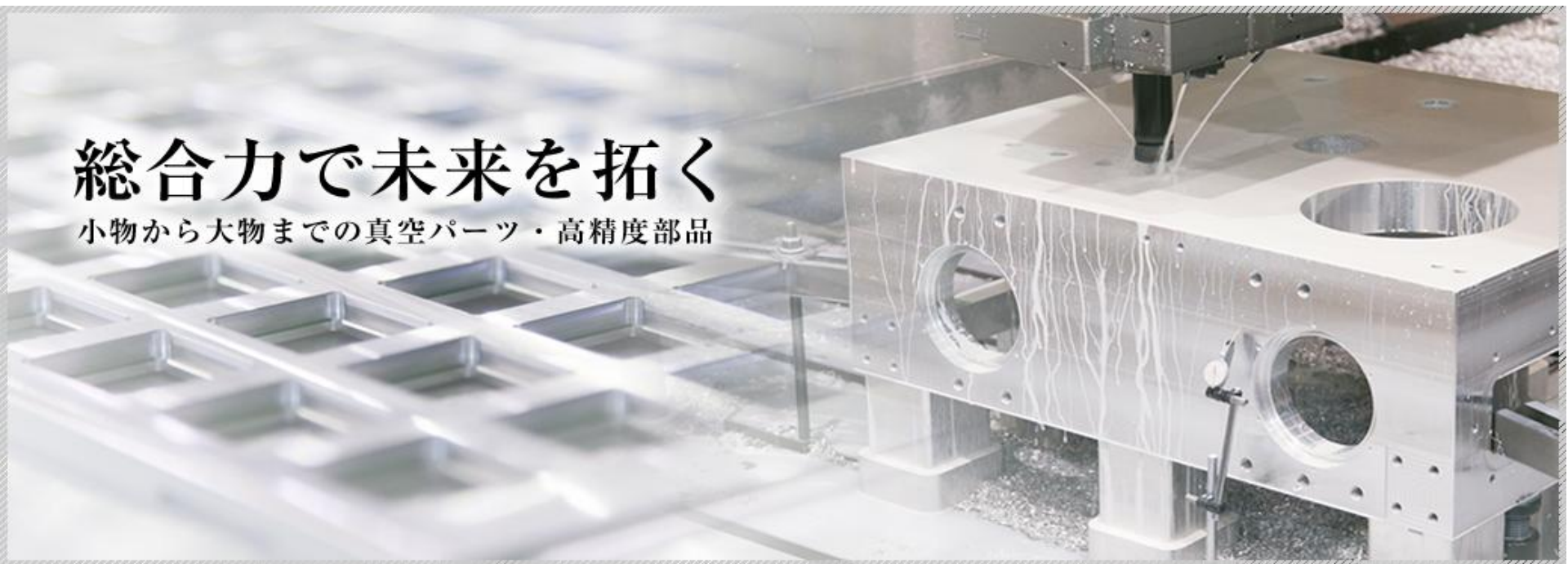
東証マザーズ(TSE Mothers):6264

**株式会社マルマエ**  
**平成29年8月期 第2四半期 決算説明会**

平成29年3月31日  
東京国際フォーラム G610号

**総合力で未来を拓く**

小物から大物までの真空パーツ・高精度部品



## PL分析

PL

	平成28年8月期 第2四半期累計期間		平成29年8月期 第2四半期累計期間		
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	対前年同期 増減率 (%)
受注高	994	—	1,436	—	44.4
受注残高	304	—	518	—	70.3
売上高	1,151	100.0	1,296	100.0	12.6
売上原価	754	65.5	861	66.4	14.2
売上総利益	397	34.5	435	33.6	9.6
販売管理費	130	11.3	157	12.2	21.2
営業利益	267	23.2	277	21.4	4.0
経常利益	250	21.7	270	20.8	8.0
特別損益	16	1.4	1	0.2	△87.9
当期純利益	173	15.1	184	14.2	5.8
EPS (円)	16.51	—	17.47	—	5.8
EBITDA	339	—	371	—	9.3

Point

### ①受注状況

- 半導体分野：1,009百万円  
(対前年同期：94.7%増)
- FPD分野：418百万円  
(対前年同期：10.4%減)
- その他分野：8百万円  
(対前年同期：6.4%減)

### ②売上高

- 対前年同期12.6%の増加
- ※分野別の詳細は次頁

### ③売上原価・売上総利益

- 材料費：65百万円増  
(対前年同期：37.6%増)
- 労務費：32百万円増  
(対前年同期：12.9%増)
- 外注加工費：61百万円増  
(対前年同期：50.4%増)

### ④営業利益

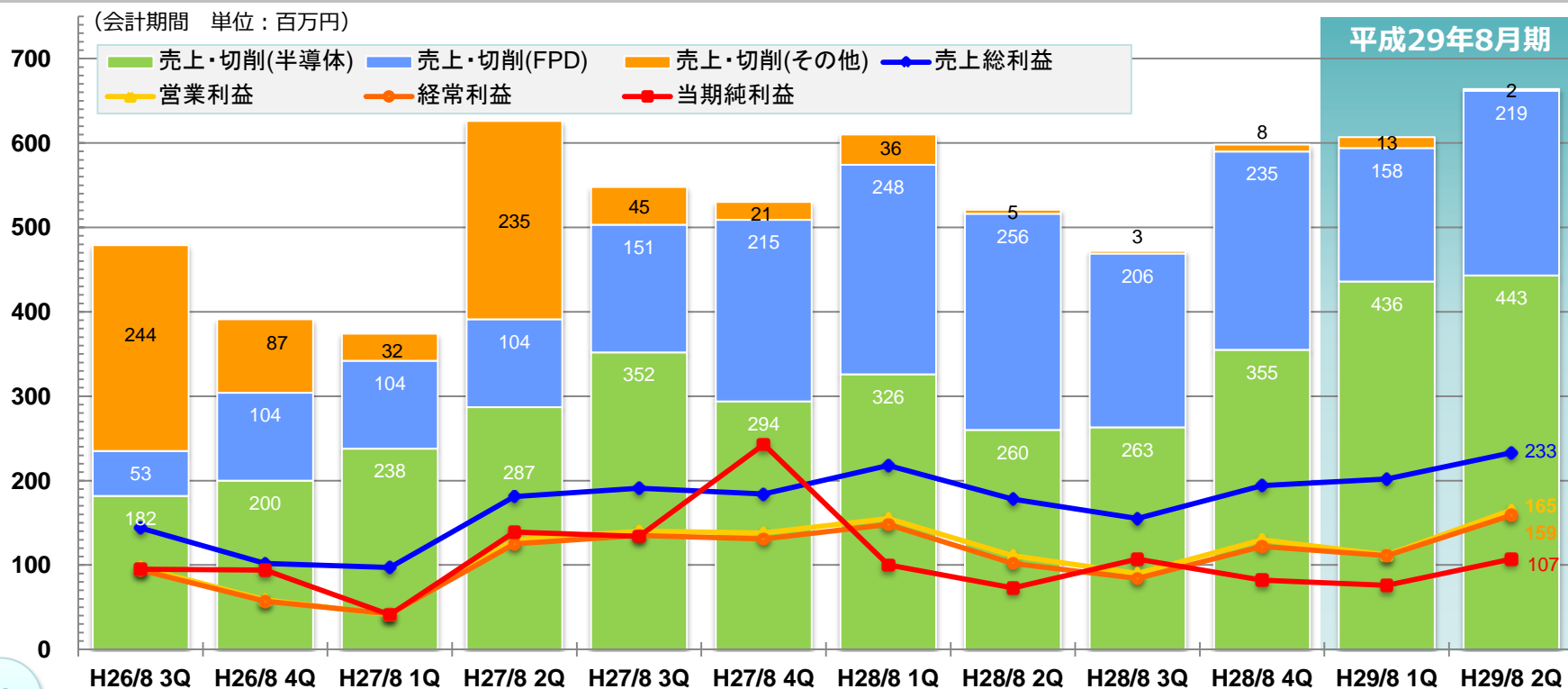
- 販管費は研究開発費と人件費の増加

### ⑤営業外収益/費用・特別利益/損失

- 支払利息：10百万円
- 法人税等：88百万円

# 1.決算概要

## 四半期業績の推移



Point

### ①売上高は、FPD分野が大幅増加（数値は累計期間）

■半導体分野：880百万円（対前年同期：50.1%増）

- ・需要拡大に合わせた生産設備増強や流動的人材の活用で生産体制を強化

■FPD分野：378百万円（対前年同期：25.1%減）

- ・有機ELと第10.5世代液晶パネル向けの受注拡大

■その他分野：16百万円（対前年同期：62.0%減）

### ②損益面では売上高の増加と生産性向上で順調

- ・生産体制強化による減価償却費や労務費等の増加
- ・売上高増加により材料費と外注加工費の増加
- ・研究開発費が前年同期より11百万円増加

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、ポイントのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

# 1.決算概要

## B/S分析

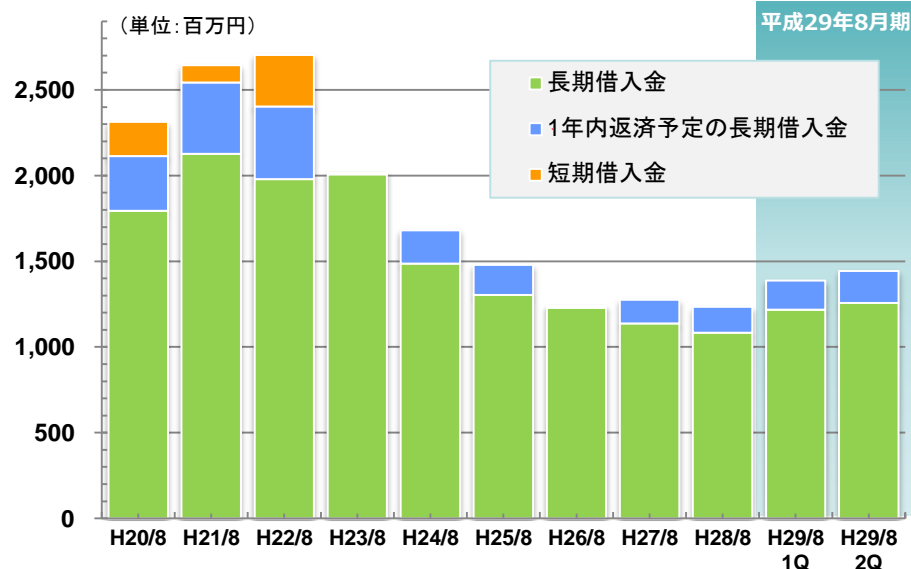
B/S

(単位：百万円)	平成28年8月期 会計年度末	平成29年8月期 第2四半期末
流動資産	1,415	1,518
現金及び預金	513	587
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	699	685
たな卸資産	163	210
固定資産	1,154	1,369
建物・土地	632	727
機械及び装置	480	573
流動負債	484	487
有利子負債（短期）※	150	186
固定負債	1,106	1,279
長期借入金	1,084	1,257
負債合計	1,590	1,767
純資産合計	978	1,120
総資産	2,569	2,887

※ 有利子負債（短期）：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

Point

- ① **資産：2,887百万円(前期末比:317百万円増加)**
  - 現金及び預金：73百万円増加
  - 有形固定資産：211百万円増加
  - 売上債権：14百万円減少
- ② **負債：1,767百万円(前期末比:176百万円増加)**
  - 長期借入金：173百万円増加
  - 未払法人税等：19百万円増加
  - その他流動負債：64百万円減少
- ③ **純資産：1,120百万円(前期末比：141百万円増加)**
  - 利益剰余金：141百万円増加
  - 自己資本比率：38.1%→38.8%

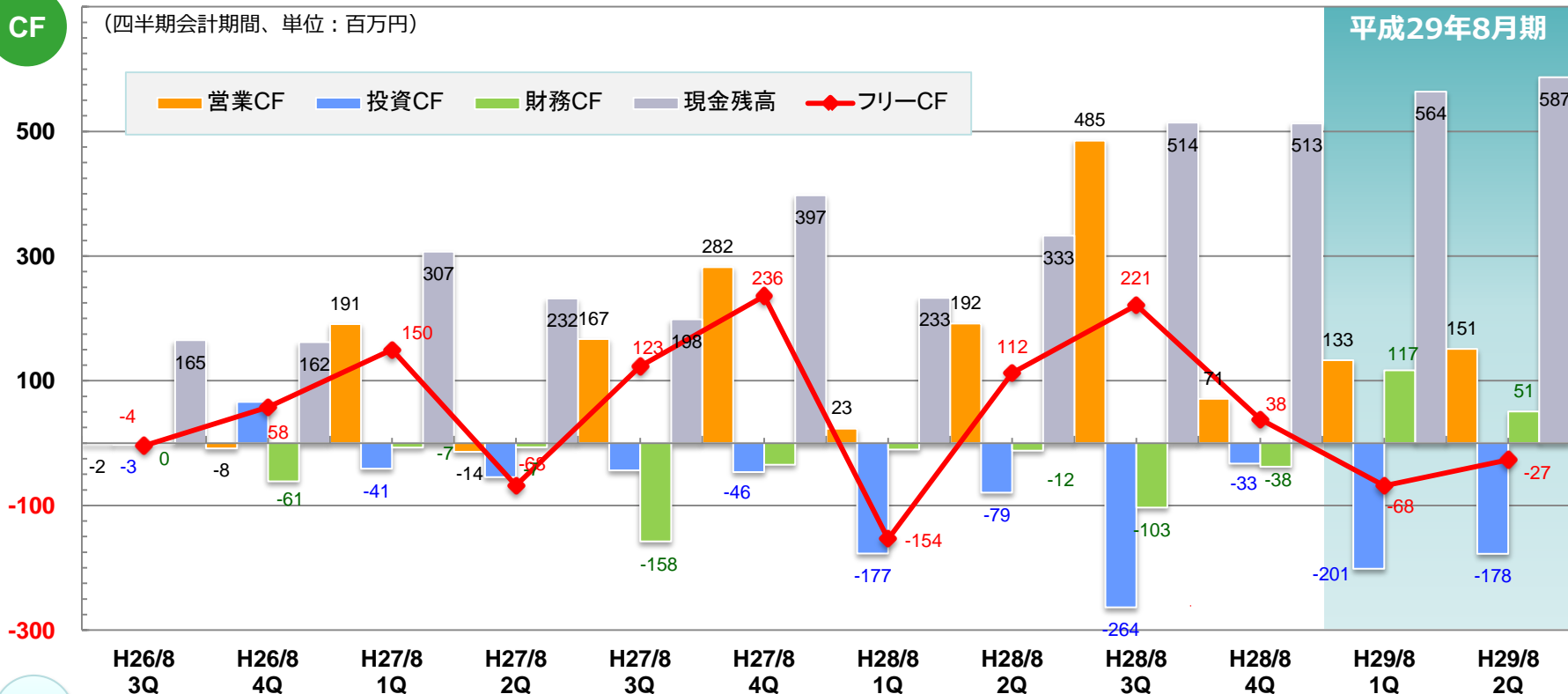


# 1.決算概要



## CF分析

CF



Point

### ① 営業活動によるCF (当期累計) : 284百万円

- 税引前当期純利益 : 272百万円増加
- 減価償却費 : 93百万円増加
- たな卸資産の増加 : 47百万円減少
- 法人税等の支払額 : 81百万円減少

### ② 投資活動によるCF (当期累計) : ▲379百万円

- 有形固定資産の取得による支出 : 375百万円

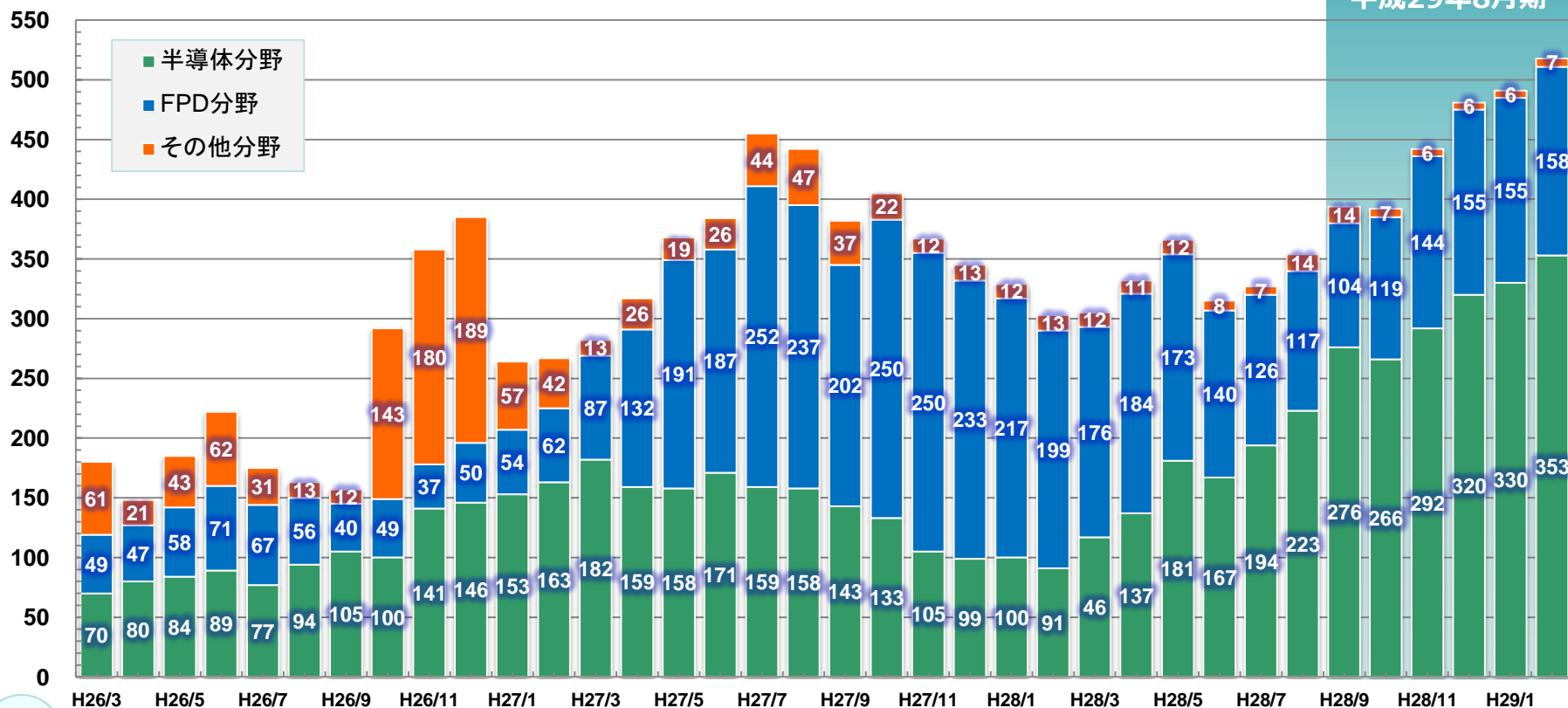
### ③ 財務活動によるCF (当期累計) : 167百万円

- 長期借入れによる収入 : 420百万円
- 長期借入金の返済による支出 : 210百万円
- 配当金の支払額 : 42百万円

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、ポイントのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

## 月次受注残高の推移

(単位:百万円)



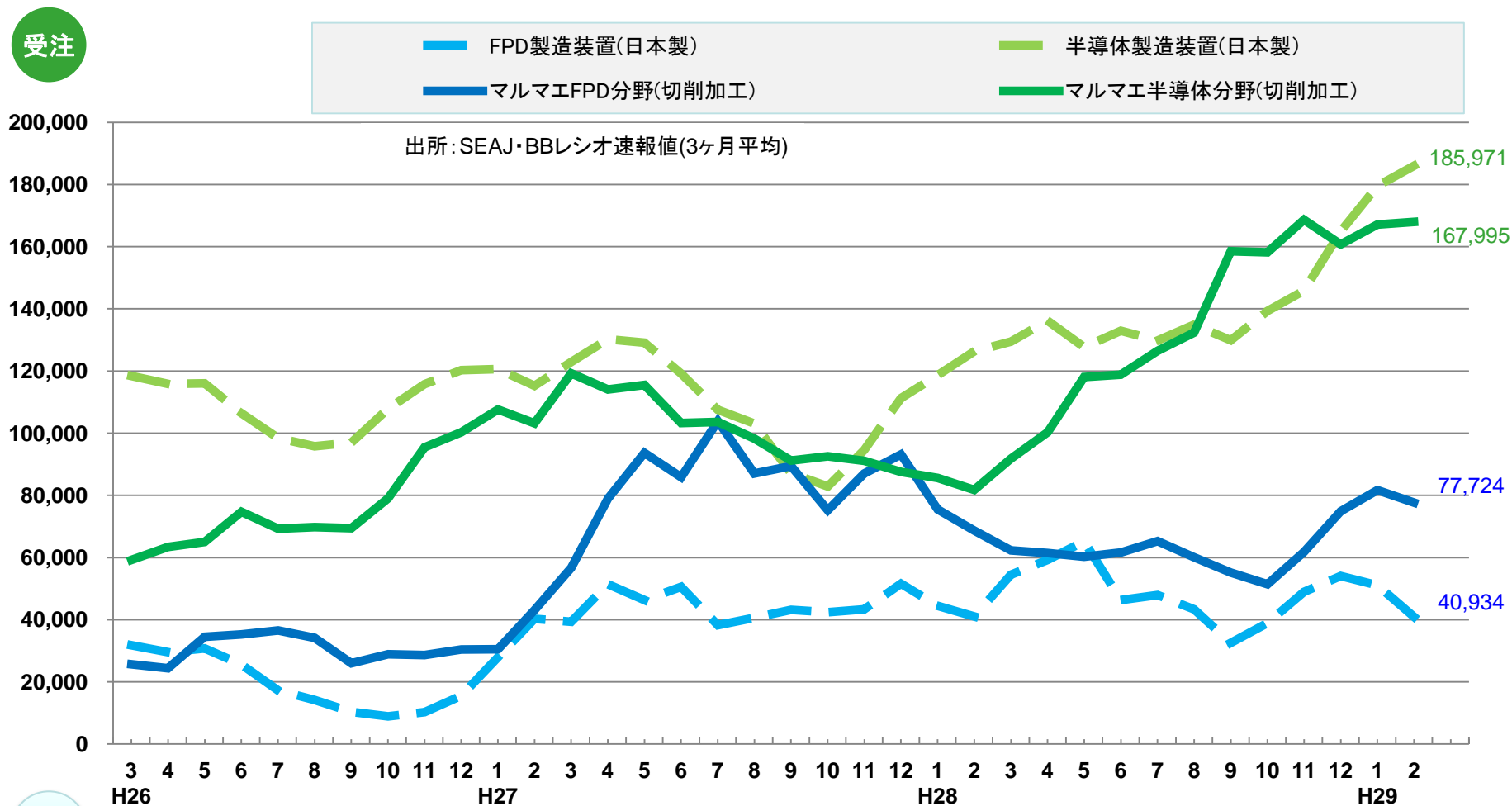
### Point

- 半導体分野では、3D NANDの増加に加えロジックの微細化投資も急拡大。しばらく高水準継続見込。
- FPD分野は、有機EL向けと第10.5世代大型パネル向けの需要が拡大。
- その他分野は、主だった動きはなし。

※当社の受注は、案件ごとに長短さまざまなリードタイム (LT) があり、LTの長い案件が多いと売上高に比べ受注残が多めで、LTが短い案件が多いと売上高に比べ受注残は低めに表れます。(最近のLTは平均して2ヵ月程度と長くなる傾向)

# 2.事業環境

## 市場とマルマエの受注動向比較（3ヶ月移動平均数値）



Point

- 半導体分野は、3D NAND向けを中心にロジック向けも拡大。受注は当社生産能力の伸びに連動。
- FPD分野は、G10.5液晶向けと有機EL向け受注拡大傾向。第4四半期に向けて本格化。

# 3.平成29年8月期の業績予想

## 今期の見通し（損益・設備投資・固定費要因）

業績  
予想

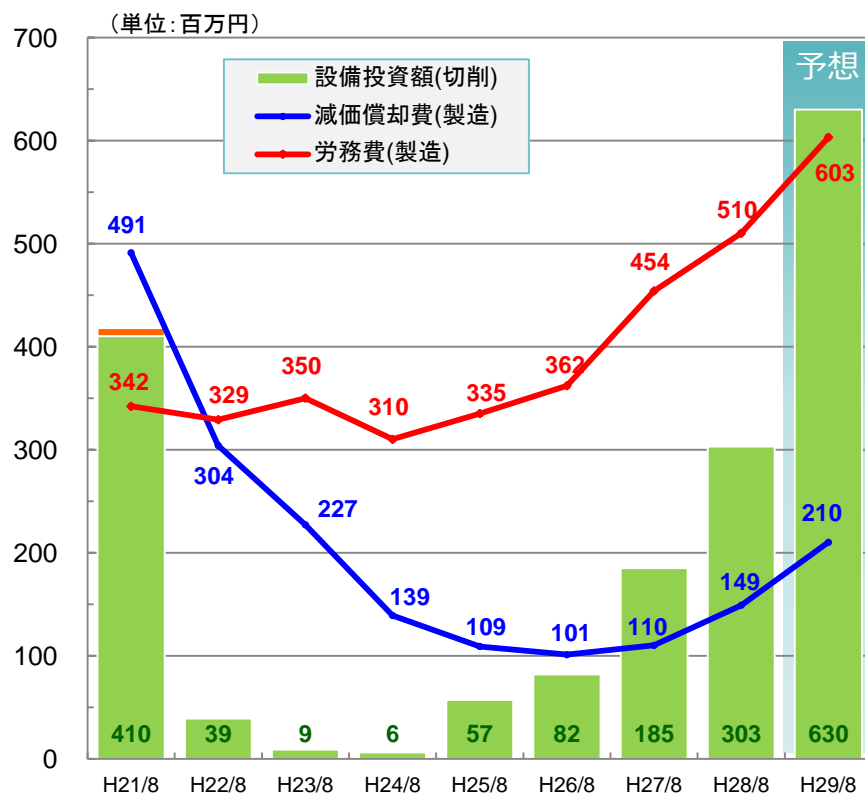
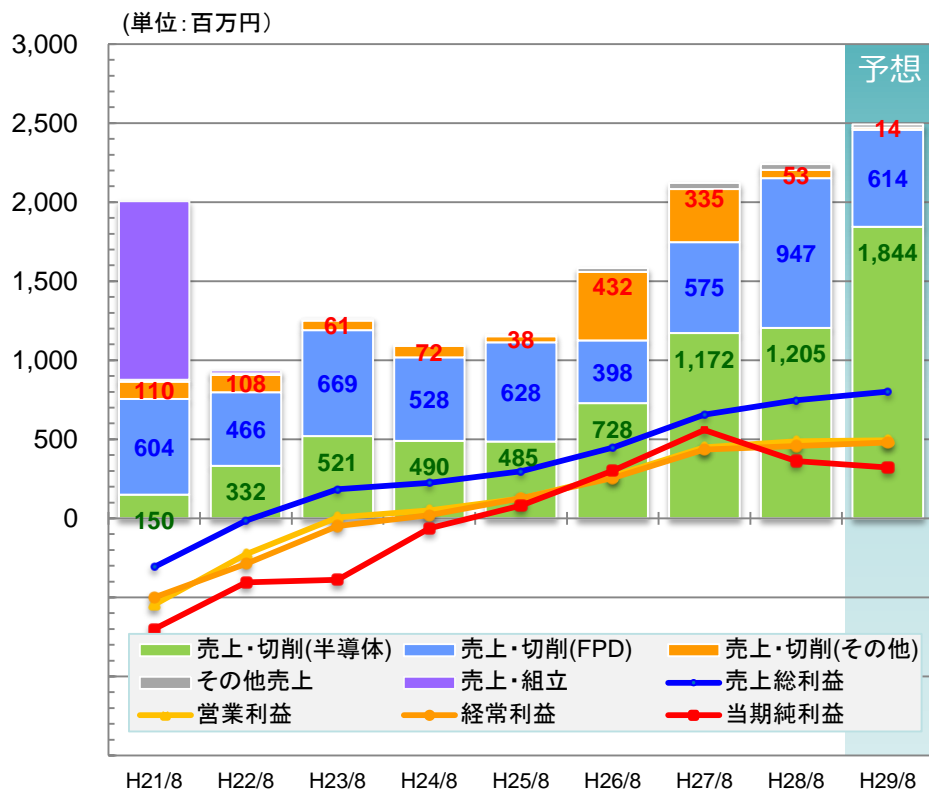
(単位：百万円、1株当たり当期純利益は円)

平成29年8月期 業績予想	売上高	営業 利益	経常 利益	純利益	1株当たり 純利益
通期	2,494	494	479	321	30.46

Point

### 業績予想の修正（H28年12月19日開示）

- ✓ 半導体分野とFPD分野において当初想定以上の受注が得られる見込み
- ✓ 当期の設備投資と人員採用を上積み受注対応





## 新中期事業計画の状況

### 中期事業計画

### 中期事業計画の進捗と優先順位

事業分野	目標	進捗等
既存事業	半導体分野の伸長 生産性向上	3D NAND中心に半導体が急成長。設備投資前倒し実施
M&A	中小を中心にシナジー有り 又は半導体のリスクヘッジ	中断し、自社の設備投資と市場変更を優先する方針
新分野	作業補助・介護ロボット等	リハビリ装置製造。試作機で量産に向けたテスト中
市場変更	期間中に東証一部を目指す	懸案の株主数など形式基準はクリア。実現へ着実に行動中

# 4.新計画「Evolution2018」

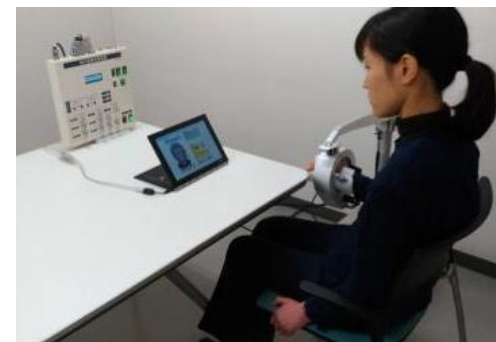
## 新中期事業計画（リハビリ装置）の進捗

### 装置の特徴

脳卒中起因で上肢に残る麻痺の複合的な改善

### 開発の進捗

開発用試作機による促通反復療法の実現性検証を完了  
実用検証を行うためのデータ取得と試作機製作へ着手



リハビリ装置試験の様子

	平成29年2月末 現在	平成29年8月末 目標
全般	<ul style="list-style-type: none"><li>タッチパネル端末装備</li><li>開発用機の評価・改善実施</li><li>各種パラメータの取得</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>実用検証用試作機製作</li><li>実証試験スタート</li><li>タッチパネル端末主体化</li></ul>
構造設計	<ul style="list-style-type: none"><li>被検者の要望を取り入れ I/Oの改善実施</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>量産性踏まえ全体見直予定</li></ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"><li>促通反復療法の動作洗練</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>試験データ蓄積</li><li>汎用的パラメータ化の推進</li></ul>

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先  
株式会社マルマエ 管理部総務課 IR担当

[ir@marumae.com](mailto:ir@marumae.com)

TEL 0996-64-2900 FAX 0996-64-2863



# Company Profile

企業情報

## 当社製品は世界中で半導体・液晶製造装置の心臓部を支えています

**主要工程**

- エッチング
- CVD
- コータ/デベロッパ
- スパッタ
- 枚葉洗浄
- アッシング
- ウエハーボンディング
- イオン注入
- アニール

**主要製品**

- 真空チャンバー
- シャワーヘッド
- 排気板
- 静電チャック
- ヒーター類
- 上部電極
- ターゲット
- 搬送系パーツ類
- 各種真空パーツ類

※画像はイメージです

## 総合力で未来を拓く～真空パーツ・マシニング・門型加工の専門メーカー～

<b>会社名</b>	株式会社マルマエ (Marumae Co., Ltd.)	<b>発行済株式総数</b>	5,596,200株
<b>設立</b>	昭和63年10月	<b>単元株式数</b>	100株
<b>資本金</b>	1億3585万円 (平成29年2月28日現在)	<b>株主総数</b>	2,875名
<b>役員</b>	代表取締役社長 前田 俊一 専務取締役 山元 弘 取締役 海崎 功太 取締役 藤山 敏久 取締役 兒島 吉二 取締役 寺畑 幸雄 取締役 梶 智和	<b>大株主 (普通株式)</b>	前田 俊一 2,408,200株 GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL 321,500株 前田 美佐子 252,000株 日本トラスティ・サービス信託銀行 170,800株 資産管理サービス信託銀行 101,500株 川本 嘉世子 91,500株 MSIP CLIENT SECURITIES 90,500株 前田 良子 90,000株 五十嵐 光栄 84,000株 マルマエ共栄会 75,500株 (注) 上記のほか、自己株式が328,382株あります。 (平成29年2月28日現在)
<b>従業員数</b>	134名 うち 臨時雇用者等55名 (平成29年2月28日現在)		
<b>所在地</b>	本社 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15		
<b>事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精密機械・精密機器の設計・製造・加工</li> <li>・精密機械部品の設計および製作</li> <li>・溶接部品の設計製造</li> <li>・運送業務</li> <li>・ソフトウェア開発</li> </ul>		
<b>経営理念</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.技術は究極を目指す</li> <li>2.競争と協調を尊び</li> <li>3.技術注力企業として社会に貢献する</li> </ol> <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p>		

総合力で未来を拓く -真空パーツ・マシニング・門型加工の専門メーカー-

年月	沿革
昭和40年4月	鉄工所を故前田務（元社長、元相談役）が個人で創業
昭和63年10月	マルマエ工業有限会社（現当社）設立（出資金2,000千円）
平成4年	オートバイ部品製造目的のT'sM'sR&D（現当社事業）を前田俊一（現代表取締役社長）が個人で創業
平成9年9月	T'sM'sR&Dの事業をマルマエ工業有限会社に統合しR&D事業部を設置
平成13年4月	株式会社マルマエに商号及び組織変更（資本金10,000千円）
平成15年12月	鹿児島県出水郡高尾野町（現出水市）に本店移転、本社新工場竣工
平成16年12月	日本証券業協会によるグリーンシート銘柄指定（証券コード6264）
平成17年12月	本社第2工場竣工
平成18年2月	鹿児島県出水市知識町の旧本社工場再取得（現知識工場）
平成18年12月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
平成19年2月	熊本事業所（熊本県菊池郡大津町）が稼動を開始
平成19年5月	経済産業省発表の2007年度版「元気なモノ作り中小企業300」に選定
平成20年3月	本社第4工場竣工
平成20年4月	関東事業所（埼玉県朝霞市）が稼動を開始
平成23年4月	熊本事業所の閉鎖
平成23年7月	事業再生ADR手続の成立
平成27年1月	事業再生ADR手続による事業再生計画の終結
平成27年6月	本社第5工場竣工
平成27年10月	本社第6工場竣工
平成28年11月	開発部の新設
平成29年1月	本社第7工場竣工

※注 個人事業部分については、月次の確定が困難なため月の記載を省略しております。